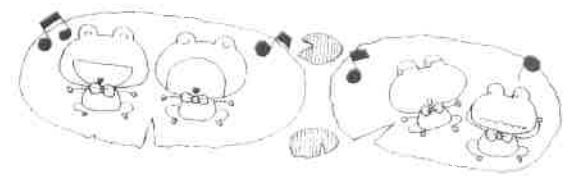


お茶の間交信

「長井市の子育て事情!？」



～赤ちゃん!どのくらい生まれているの?～

子育てでつながる家いろはは、長井市の子育て支援センターです。平成30年にオープン以来、地域の親子をお迎えしています。

いろはがオープンしたのは5年前。その頃と比較すると利用者数がとても少なくなりました。そして、普段の生活の中でも、妊婦さんや乳幼児連れの親子を見かける機会もぐっと減った印象です。いったい赤ちゃんはどのくらい生まれているの?赤ちゃん親子はどこで過ごしているの?そんなことを最近特に思っていました。

そこで、長井市に令和4年の出生数を問い合わせたところ、119人(暫定数)とのこと。これには、とても大きなショックを受けました。

長井市の出生数 ※「令和4年版ながいのあらまし」より抜粋



年次	出生数
令和4年	119人(暫定数)
令和3年	145人
令和2年	161人
令和元年	161人
平成30年	165人
平成29年	178人

コロナ禍も大きな影響を及ぼしたのでしょうか。このように出生数が減っていることに加え、保育所や認定こども園などの施設に入所している0歳児においては約30%、1歳児では約80%、2歳児にもなると約90%にもなるそうです。多くの子ども達が平日の日中を施設で過ごし、家庭で過ごしている子どもの数は

土屋 清美(子育てでつながる家いろは、お茶の間交信編集委員)

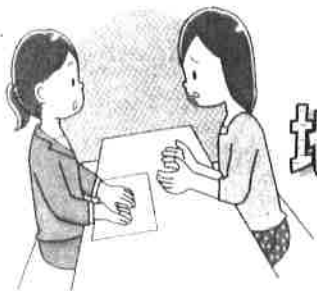
わずかということです。平日の子育て支援センターの利用者が少なくなったと感じていることに妙に納得してしまいました。

～子育て支援センターを利用するママ達の声～

乳幼児を見かけなくなったと思っているのは私だけではなく、いろはを利用するママ達も同様で「赤ちゃん、生まれているのかな?」「どこに行けば同級生と会えるかな?」などという会話も聞こえてきます。近くに自分と同じような親子がいないと、自分ばかりが家庭で子育てをしているように感じたり、孤独を感じることもあるのではないのでしょうか。それが仕事復帰を早める要因にもなっているようにも思います。でも心配いりません。いずれ入園すれば、たくさんのお友達と会えるでしょう。家庭で子どもと過ごす時間はとても貴重です。今は男性も育児休暇を取れる時代なので、ママだけでなくパパもぜひ育児にかかわって仕事復帰するまでの貴重な時間を充実したものにしてほしいです。

～そうは言っても…～

楽しいことばかりでないのが子育て。子どもと過ごす時間は喜びもありますが、しんどくなることもあるかと思います。まずは、子育て支援センターをご利用ください。子育て支援センターは、様々な情報を持っています。ネットの情報にも負けませんよ! 天候や気温、交通の利便性など環境が違うと、子育てもまた違ってきます。やはり地域のママ達に聞くのが一番ですよね。誰かと会って話を聞いてもらうだけで、少しホッとすることもかもしれません。また、地域には家事サポートや一時預かりなどのサービスもあります。いろいろな人の手を借り、たまに休息をとりながら親子の時間を楽しんでほしいです。



地域の支援を利用して! お茶の間交信の仲間たちより



長井市認定家庭的保育ルーム ひよっこ

ひよっこの一時預かり保育

- ・お預かりの理由は問いません
 - ・ご利用は事前登録が必要です
- ※保育園・幼稚園・認定こども園・児童センターなどの施設に在籍している場合、お預かりできません。

対象：生後2か月～満3歳（4/1時点で2歳）

定員：1日5名（在園児を含む）

利用料：1日3,000円、半日1,500円 ※給食、おやつ代別途

※詳しくはお問合せください

住所／長井市成田1662

TEL 0238-84-0597

Email hiyoko-rs@kym.biglobe.ne.jp



子育てでつながる家いろは（長井市子育て支援センター）

住所／長井市十日町1丁目6-49-2

TEL 0238-87-0814

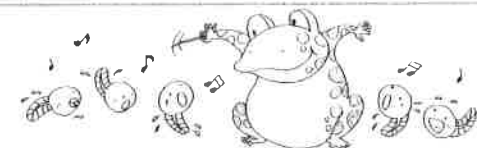
利用方法／登録制（無料）

開館日時／火～金曜 10:00～15:00（金曜日は予約日）

イベントの日、フォトの日、助産師さんの日、赤ちゃんの日、

マタニティの日などの

行事もあります。



家庭訪問型子育て支援（ホームスタートおきたま）

研修を受けたボランティアが、外出が難しく、家庭の中で育児のサポートを受けたい人を訪問し、子育てや家事の手伝いをします。6歳までの子どもがいる家庭が対象で、週1回、約2時間の訪問を4回程度無料で利用できます。

TEL 0238-87-0814

Email okitama@ikuji-land.jp

カモミール（保健師・看護師・ナーシングドゥーラ®Pro）

ナーシングドゥーラ®は、療養上のお世話を専門とし、育児・家事をサポートする産前、産後の訪問看護師です。医師の指示が必要なケアは行いません。家事も育児も、悩みごとや不安なこともトータルサポートいたします。

住所／長井市館町北6-27 タスビル2階 i-bay 内

※利用料など詳細はお問合せください！

TEL 070-3105-6907

Email chamomile6907@gmail.com



子育てのワンポイントアドバイス

Q：子どもがなかなか話を聞いてくれません。話を聞けるようになるにはどうしたらいいですか？

A：お子さんの年齢によることも大きいかと思いますが…保育施設でも年々お話が聞けないお子さんが増えてきたと聞きます。また、3年に及びコロナ禍でのマスク生活の一つの弊害とも考えられますが、目だけでは表情がわかりづらく、表情から察することが出来なくなっているように感じています。

お子さんはどのくらいタブレットやスマホを見ますか？

5月22日付の山形新聞の『談話室』で気になる記事を見つけました。他人の気持ちを読み取ったり共感したりする際、脳の主に3か所が働くことがわかっています。その活動を調べるとよいコミュニケーションが取れている時は互いのデータは似たように揺らぐ。すなわち“同期”するといいます。

脳トシで知られる川島隆太東北大教授が2020年にある対話実験を行ったそうです。学生を2グループに分け、一方は直接顔を合わせて、もう一方はモニター越しのウェブ会議で。その結果、前者は全員の脳の同期が確認されたが、後者では一切同期が生じなかった。この結果を受け川島教授は、オンラインでは「情報は伝達できるが、感情は『共感』していない。つまり、相手と心が繋がっていない」ということを意味すると説明しています。

パッと家事を終わらせたい時、お母さん自身がちょっと休息を取りたい時等、ついついお子さんにタブレットやスマホを渡してしまうことはありませんか？ その面白さにお子さんもきっと夢中になって見てしまうことでしょう。タブレットやスマホを活用する時には、時間を決めて、ダラダラ見にならないようにしましょう。

お子さんがお話をしようとした時には、お母さんはスマホを見ながらなんてことはせず、お子さんの顔を見て聞いてあげてください。また、お母さんがお子さんに話をする時も同じです。お子さんの目をしっかり見てお話をしてみてください。



長井市承認
郵便番号
〒993-8790

614

差出有効期限
令和7年5月
31日まで

〒993-8790

長井市屋城町6番53号

長井市中央コミュニケーションセンター
(交流センター515号内)

お茶の間通信 行

折 り 扱

折 り 扱

折 り 扱



〒993-8790

